

和・いわい

創刊号



一関市立桜町中学校 合唱部の皆さん 平成 24 年 10 月 30 日

本号のなかみ

1. 院長ごあいさつ
2. 病院からのお知らせ
3. 病院ボランティアの紹介
4. 季節のたより：ウィルス感染予防について
5. 外来診療のご案内

発行：岩手県立磐井病院広報委員会 平成 24 年 12 月 25 日

岩手県立磐井病院

〒 029-0192

岩手県一関市狐禅寺字大平 17

URL: <http://www.iwai-hp.com/>

<http://www.facebook.com/iwaihp>



診療所・病院との磐井病院との役割分担

岩手県立磐井病院院長 加藤博孝

磐井病院は、「緩和ケア病棟」、「放射線治療科」を有する「地域がん拠点病院」です。さらに「地域周産期拠点病院」となっており、神経内科・脳神経外科、産科、小児科も含めて、岩手県南・宮城県北の拠点病院です。病気でいうと、「がん」「急病：脳、心臓、胃腸、胆嚢・胆管・膵臓・肝臓、泌尿器」などのうち重症のもの、子供や産婦人科の病気（小児の専門治療・入院治療、お産、女性の病気）を中心に診療しています。救急診療では昨年の救急車受け入れ台数は約3000台で両磐圏域の救急車の51%でした。

現在の当院の一般のベッド数は305床で、医師数は、常勤医師数38名、研修医が11名です。病院ランキング（表）の病院の医師数の評価の基準として、医師数（常勤医師）÷一般病床数というものがあり、0.4以上が15点満点ですが、磐井病院は、0.12で6点でした。当院が、9点である中央・中部・胆沢なみになるためには、常勤医が61名必要で、さらに23名の医師の増員が必要ということになります。医師数を増やす努力はしていますが、関連の大学の医局も医師不足で、急な増員は望めない状況です。

このような事情もあり、慢性疾患や軽症の患者さんは、周囲の診療所と病院で診療していただき、磐井病院では、重い病気や専門医療の必要な患者さんの予約診療を行っています。予約にあたっては、かかりつけ医の紹介状をお願いしています。かかりつけ医を持たない方で当院の診療を受けたい方には、予約センターに連絡をしていただき、予約を取得していただいています。こういった診療所と病院の連携を病診連携といい、今後もさらに強化していく必要がありますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

医師数	15点満点	医師数（常勤換算）÷一般病床
0.4以上	15点	磐井病院は、 $38 \div 305 = 0.12$
0.3以上	12点	東北大学病院などの大学病院
0.2以上	9点	岩手医科大学病院
0.1以上	6点	岩手県立（中央、中部、胆沢） 岩手県立（磐井、宮古、大船渡、二戸、久慈、千厩、江刺） 盛岡赤十字病院、栗原中央
0.1未満	3点	釜石病院、遠野病院

週刊ダイヤモンド 2012/10/27 より

病院からのお知らせ

■ 外来の受診方法は…

当院では、病診連携を進めるため、外来診療に予約制を導入しております。

かかりつけ医（開業医や他の病院）をお持ちの方は、かかりつけ医を受診した日に、かかりつけ医から当院の地域医療連携室に連絡（FAX）をしていただき、予約を取ることが出来ます。当院を受診される日には、かかりつけ医の紹介状とお薬手帳をお持ちください。

かかりつけ医から予約を取ることが出来ない場合でも、直接予約センターに直接電話をしていただければ、予約を取ることが出来ます。予約センター（0191-23-3453）の受付時間は、平日（土・日・祝日を除く）の午前9時から午後5時までです。なお、紹介状を持参されず初めて受診された場合には、「緊急その他やむを得ない場合」などを除き、「初診」にかかる費用として1,370円が必要になりますので、ご了承願ひします。ただし、急病など、早急な診察・治療が必要な方は、予約がなくても診療を行いますので、受付の職員に申し出て下さい。

また、小児科につきましては、昨年度より3名少ない体制での診療を継続するために、外来診療時間の短縮をせざるを得ない状況となっております。今後とも適正受診のご理解と

ご協力をお願いします。

■ 救急患者さんが…

当院では、毎日、医師が2人ずつ当直しており、当直の日は、救急患者さんの診療に追われ、ほとんど睡眠をとることが出来ませんが、翌日も引き続き外来診療を行っています。複数の医師を確保し、当直明けの医師には、できるだけ休憩を取ってもらいたいと考えておりますが、なかなか十分な医師を確保することが出来ません。

救急患者さんのなかには、タクシー代わりに救急車を利用したり、待ち時間が短い夜間の救急時間帯や休日にのみ受診する患者さんもいらっしゃいます。こうしたケースが続くと、医師が疲弊するばかりではなく、本来直ちに診察が必要な患者さんが後回しになるケースが出てくることになり、医療安全上も問題があります。適切な救急受診をお願いします。



岩手県立磐井病院ボランティア

「ばっきゃの会」を紹介いたします

私たちの「ばっきゃの会」は、平成18年の磐井病院移転と共に発足し、今年で7年目となりました。会員相互の自主的活動により、岩手県立磐井病院の基本方針に基づいて、磐井病院を拠点に活動を行い、より良い医療環境と地域住民の福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。会員は現在38名で、個々の時間帯で5つの分野に分かれ、各担当者を中心に計画を施行しています。(下記、各分野を簡単に紹介)

- 1 外来案内(受付や検査室へのご案内、会計機の使い方、お話を聞く等)
- 2 行事(季節ごとに七夕、クリスマス、庭園を楽しむ会、他)
- 3 図書(各病棟の図書整理、交換、補習、外来患者様への貸し出し)
- 4 園芸(5階庭園の花植え、草取り、水やり、草木の剪定)
- 5 緩和(月2回のティータイム、季節に合わせた演奏会)

それぞれ自分の許す時間を利用しての活動のため、全会員がお互いに顔を合わせることが少ないため行事の後に交流会や、年1度の総会、研修会や他の病院との交流会等で会員の親睦を図り、活動の意見交換で楽しく笑いの多い、明日への意欲づくりに努めております。又病院のボランティア担当の方々と月1度委員会を持ちお互いに活動の経過や予定等を出し合い意見交換をし、会の向上を計り、患者様を心よく迎えられる様頑張っております。ボランティアも7年目となりそれぞれの部門で、やりたいことがあれこれと夢が膨らみ計画を立てるも、いざ実行となると人手不足や時間の余裕を作ることが難しく足踏みすることが多々あり残念です。



誰もがいつからでも出来る活動ですので、何時間でも許す時間で私たちと共にボランティアをしてみたい方がおりましたら大歓迎いたします。一緒に、楽しくボランティアをしてみませんか。声のかかることを、大いに期待し「ばっきゃの会」の紹介を終わらせていただきます。

ばっきゃの会 会長 畠山 サト



「手洗い」と「うがい」で感染症を予防しましょう！

磐井病院感染対策チーム

インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎が流行する季節となりました。どちらも原因ウイルスが口から体内に入り込んで発症します。

インフルエンザのワクチン効果は感染した場合に重症化しないようにすることです。ワクチン接種でインフルエンザに軽く罹って、本当のインフルエンザに感染した時の体内対応を練習する働きがワクチン接種です。決して、インフルエンザに罹らないためではありません。まだ、ワクチンを接種していない方は早めに接種しましょう！

インフルエンザウイルスは口の中に入ると粘膜上皮細胞内

に侵入して増殖し、ウイルス量を増やします。それから、48時間はウイルス量が増えますが、その後はゆるやかに減少します。このため、タミフル等のウイルスを殺菌する薬は早めに飲まないと効果がありません。また、発熱等の症状が出た

ら脱水しますので、こまめに水分補給をすることが大切です。

そして、なにより一番は予防が大切です。

インフルエンザウイルスが口の中に入る原因としては、インフルエンザに罹っている人のくしゃみを浴びる。ウイルスが付いている手すりやドアノブを触ることにより自分の手にもウイルスが付く。その手で口の周りを触る、その手で食べ物を掴むことから間接的に口に入ってしまう。

それを防ぐには、手に付いたウイルスを殺菌することです。よく泡立てた石鹸で洗う方法、擦り込み式のアルコール消毒剤を擦り込む方法があります。そうです！「手洗い」です。最後に、口の中を乾燥させないためと、口の中に居るウイルスを吐き出すために「うがい」も必要です。ウイルスは湿気に弱いので、口を乾燥させないように、何度もうがいをしましょう。

ご質問は磐井病院ICT(感染対策チーム)へお願いします。



外来予定表

受診予約はお電話で 0191-23-3453 まで（平日 9 時から 17 時）

診療科	ブロック		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月内スケジュール
消化器科	B	午前	○	○	○	○	○	
糖尿病外来	B	午前		○		○		
心療内科	B	午後				○		
循環器科	C	午前	○	○	○	○	○	
ペースメーカー外来	C	午後			○			
呼吸器科	C	午前					○	
	C	午後		○	○			第 1.3 水曜日のみ
神経内科	C	午前	○	○	○	○	○	
外科	B	午前	○	○	○	○	○	
化学療法外来	B	午前	○	○	○	○	○	
	B	午後	○	○	○	○	○	
ストーマ外来	B	午後	○	○		○		1 火；3 月；2.4 木曜日
乳腺外来	B	午後		○		○		第 1 木曜と第 3 火曜
小児外科	B	午後		○				第 2.4 火曜日のみ
緩和医療科	C	午前	○	○	○	○	○	
画像診断科	C	午前	○	○	○	○		
放射線治療科		午前				○		
		午後		○				
産婦人科	E	午前	○		○	○	○	
妊婦検診	E	午前	○		○	○	○	
小児科	A	午前	○	○		○	○	
新生児外来	A	午前			○			
	A	午後	○		○			
慢性外来（小児）	A	午後		○			○	
予防接種（小児）	A	午後	○					
乳児検診	A	午前			○			
1ヶ月検診	A	午後			○			
慢性心臓疾患	A	午後					○	第 1 金曜日
慢性血液疾患	A	午後			○			第 4 水曜日
慢性腎臓疾患	A	午前				○		第 2 木曜日
慢性神経疾患	A	午前					○	第 2 金曜日
慢性消化器・アレルギー疾患	A	午後			○			第 3 水曜日
皮膚科	C	午前	○	○	○	○	○	
皮膚科学生外来	C	午後			○			小中高
泌尿器科	D	午前	○	○		○	○	
整形外科	D	午前	○	○		○	○	
脊椎外来	D	午前					○	第 1.3 金曜日のみ
形成外科	D	午前	○	○	○		○	
脳神経外科	D	午前	○	○	○	○	○	
てんかん外来	D	午後					○	第 2 金曜日のみ
眼科	休診							
耳鼻咽喉科	C	午後	○	○		○	○	
歯科口腔外科		午前			○	○	○	
		午後	○	○	○	○	○	

編集後記

今年も師走を迎え、あわただしい季節となりました。最近は年度変わりや自身の誕生日よりもこの年末が一番ゆっくりと「一年がたったんだな」と感じられるようになってきています。今年、辰年もいろいろとございましたが皆さんの一年はいかがだったでしょうか。

さて、来年は巳年ということで「巳」には実を結ぶという意味もあるそうです。今年蒔いた種、この広報誌「和・いわい」もその一つですが、これが今後、号数を重ねて大きな実を結び、皆さんに愛されることを願わずにはいられません。

(KY)